

2025 第 4 回金泰九さんに学ぶ教育実践交流会

～いま・ハンセン病問題学習をどう進めるか～

ご案内



想像を絶するような過酷な人生を歩んでこられたはずなのに、限りなく、やさしく、豊かで深く、そして勁*（つよ）い。大らかな人柄と穏やかな語り口が醸し出す何とも言えぬ柔らかさに誰もが引きつけられ、全国各地に息子や娘が次々と生まれました。私たちの仲間たちもそのひとりだと自負しています。

金泰九（Kim Taegoo）さんが亡くなられて早 10 年、2022 年 11 月 19 日に第 1 回教育実践交流会を開催し、全国各地から 80 名を超える方々に参加いただき、あらためて金さんの思いを次の世代へと継いでいくことが私たちの責務であると確認し合いました。以来、回を重ね、今年度も金さんの在りし日を偲ぶとともに、をテーマに、「第 4 回教育実践交流会」を開催いたします。来年は「らい予防法」廃止(1996)から 30 年という節目にもなりますが、ますますハンセン病問題について正しい理解を広げることが求められています。そこで今回は、「ハンセン病問題学習をどう進めるか」をテーマにご参加の皆さんとワークショップを行い指導案や学習プログラムを作成してみようと計画しました。校種、立場を問わず、これまで実践されてこられた方々には、その経験を提供していただき、特に初めてハンセン病問題学習に取り組んでみようという方々には、奮ってご参加いただきたいと思います。互いに交流しつつ、金さんの遺志と教えを引き継ぎ、時代を切り拓く確かな学びの場としましょう。

りませんが、ますますハンセン病問題について正しい理解を広げることが求められています。そこで今回は、「ハンセン病問題学習をどう進めるか」をテーマにご参加の皆さんとワークショップを行い指導案や学習プログラムを作成してみようと計画しました。校種、立場を問わず、これまで実践されてこられた方々には、その経験を提供していただき、特に初めてハンセン病問題学習に取り組んでみようという方々には、奮ってご参加いただきたいと思います。互いに交流しつつ、金さんの遺志と教えを引き継ぎ、時代を切り拓く確かな学びの場としましょう。

*「勁い」は(巫+力)で「はたを織る時の縦糸」の象形(「まっすぐ伸びる縦糸」のまっすぐの意味と「力強い腕の力」の意味から、「まっすぐで力強い」を意味する。

- 1.日 時 2025年 11月 22日（土） 12時 30分～17時 雨天決行（フィールドワークは 11/23）
- 2.場 所 国立療養所 長島愛生園（納骨堂・むつみ交流館）[岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6359]
- 3.主 催 東備地区人権教育研究協議会(東備学ぶ会) 金泰九さんに学ぶ教育実践交流会実行委員会
- 4.後 援 長島愛生園自治会 岡山弁護士会 岡山県教職員組合 瀬戸内市 瀬戸内市教育委員会 岡山県人権教育研究協議会（申請中）

5.日程及び内容

- (1) 追悼の集い：万霊山納骨堂(12:30～13:00)
- (2) 交流・学習会：むつみ交流館(13:30～17:00)

テーマ：ハンセン病問題学習の授業案や学習プログラム、教材等を創ろう!!

〈ハンセン市民学会で啓発資料調査を担当しておられる太田明夫さんからの啓発等の在り方についての提起を受け、参加者それぞれの課題や関心に応じて就学前、小学校、中学校、社会教育等のグループに分かれ、共に話し合いながら、授業案や学習プログラム、教材を創っていきます。〉

【宿泊者される方のプログラム】(希望者)

- (3) タベの学習会
- (4) 長島愛生園フィールドワーク（11/23（日）フィールドワークのみの申し込み可）

日程詳細

🌸 追悼の集い:万霊山納骨堂(12:30~13:00)交流会館前駐車場移動→万霊山納骨堂

🌸 教育実践交流会：むつみ交流館(13:30~17:00) 参加費(資料代) 700 円

① 開会行事(13:20~13:30)

② 問題提起と質疑 (13:30~15:00)

◇提起『だって、出会っちゃったんだモン~授業より前に問われるのは自分~』

太田明夫さん

ハンセン病問題を共に学び共に闘う宇全国市民の会

ハンセン病市民学会啓発資料調査部会共同代表

〈太田さんからのメッセージ〉 この度お声をいただいて、私の活動の中から「ハンセン病問題に関する授業の在り方について提起してほしい」とのことでした。私自身は教員ではありませんので「授業」について語るものは持っていません。エラソウに物を言える立場ではありません。ただ、私がこれまで感じて来た「違和感」についてお話ししたいと考えています。

学校現場で求められる「どう教えるか?」という姿勢について。

「どう教えるか?」の前に、やはり、一個人として「どう学ぶのか?」を問うところから始めなければいけないのではないかと。まず私たち自身が、どこに立って、どのような視点から問題を見るのか、見ているのか?そこを問い直すところからやり直さないといけないのではないかと。私自身が、国賠訴訟判決以後、出遅れつつも続けて来た「つもり」の活動、療養所での交流学习は、単なる「交流」に留まっていました。そのことを、豎山勲という一人の元患者(全原協事務局長:現会長)との出遇いの日に、ガツンと頭を殴られ、気づかされたことをお伝えできたらと願っています。つまり、私たち市民は、国の強制隔離政策によって「加害者」にさせられた「被害者」でもあること。そのハンセン病差別が残る今、差別社会を温存させている「加害当事者」であることを改めて問い、自覚する…。

繰り返しになりますが、大きなことを言える立場ではありません。しかし、こー、二年で取り組んでいる、ハンセン病市民学会『啓発資料調査部会』での資料検討の中から「救らい思想」を問うことも併せて考えていただけたらと、願っています。まさにそれが、「私自身がどこに立っているのか」を問い直すことになると思うからです。

🌸 【宿泊者される方のプログラム】(希望者)

④ タベの学習会：むつみ交流館 (17:30~18:30)『虎八眠ラズ』映画鑑賞&懇親会

⑤ 長島愛生園フィールドワーク 11/23 (日) (9:00~11:30)

・船着き場跡~収容所跡~監房跡~万霊山・納骨堂~平成公園(火葬場跡)~恵みの鐘~一郎道~恩賜記念館~菴羅公園から(新良田教室(高校)跡)~歴史館見学~(さざなみハウス) *フィールドワークのみの参加申し込み可 (実行委員会主催)

連絡

(1) 案内にある内容(趣旨)にもとづいて、学習・交流を深めます。親しい方々にお声かけいただき、多くの方々のご参加をお待ちしています。

(2) 交通費・懇親会費は参加者でご負担ください。宿泊は、むつみ交流館(長島愛生園内施設)を主催者で確保しています。宿泊料金は不要ですが、夕食代及び朝食代(1人2,200円程度)を当日徴収させていただきます。

(3) むつみ交流館についての詳細は長島愛生園HPを参照ください。

<https://mutsumi0.webnode.jp/> 部屋の希望等がありましたら、申込時にご要望ください。コロナ感染症対策は各自お願いします。(施設のガイドラインに準じて開催します)

(4) お問い合わせ先：実行委員会事務局

ひさつく

久次博文[岡山県備前市日生中学校] (090)7596-9656

(5) **参加申込み** QRコード等でお申込みください。【11/5(水)締切】

<https://forms.gle/GZBWMKhtXCjkqhET7>

